

申5号「2025年度年末手当に関する申し入れ」第1回交渉を行う②

JR東労組に寄せられた組合員・社員の声を 会社に伝え3. 7ヶ月満額回答を求める！

労働実感について

アンケートを行い「現在の賃金は労働実感に見合っているか」の質問をしました。その結果についてです。見合っていない：64.6%、やや見合っていない：31.3%、どちらでもない：4.2%、やや見合っている：0%、見合っている：0%という結果だった。

3徹っていうのは本当に体力的につらく社員を人扱いしていないのではないか。どんな苦勞して3徹しても、その苦勞には手当は一切ない／主勤務地外勤務をしている。助勤が続くことが多々あり、1ヶ月に半数以上が助勤を行っている／車椅子対応が急増していて、平日はほぼ毎日昼休憩はない／体調不良による突発が多く、突発に対応してくれた社員も休日出勤の代償で、体調不良を起こし、休んでしまい、勤務が回らない状態だ／サポートコールシステムを導入しているが、1人勤務のため券売機トラブルや車椅子の対応は駅に任せるため休憩時間も気が休まらない。トイレでゆっくりすることもできない／1人勤務駅では休憩中もサポートコールセンターから対応依頼があり、おでサポでのお客さま対応をしなければならず休憩時間中の勤務が常態化している／おでサポ対応では休憩時間でも常に業務用タブレットを手元に置いておかなければならない／1人駅勤務では、休憩中にも頻繁に業務が発生する為、常に業務が行える状態で待機しており、休憩が取れていない。

生活実感について

アンケートを行い「現在の生活実感についてお聞かせください。」と質問したところ、苦しい：43.8%、やや苦しい：41.7%、普通：14.6%、ややゆとり：0%、ゆとり：0%という結果だった。

アンケートで年末手当の主な使途聞きました。生活補填と答えた方は87.5%、貯蓄：56.3%、ローン：29.2%、買い物：10.4%旅行：14.6%、子育て：2.1%、趣味：2.1%と言う結果だった。月の賃金が安いために、どうしても期末手当を切り崩して月の補填に充てないと生活が出来ない。

会社側はいつも「賃金については妥当」「手当は妥当な金額」と言っているが、実際生活は厳しいと感じる。子育てもしているが、首都圏で2人目や3人目を養えるような給与体系ではない／米や野菜など食品価格が上がり続けているが、物価高騰に賃金上昇が追いついていない。ボーナスは生活費に充てるつもり。せめて生活が良くなるよう要求額を満たしてほしい／昨年度のベースアップ分では補填しきれていないため、月々の給料だけでは赤字。ボーナスで補填している状況。そのような実態であることを受け止めて頂きたいのですがいかがでしょうか？

モチベーション・離職について

社員が財産と言っている割には、それに見合った給料が払われていない／箇所にもよるが、基本少ない人数でやらされ、委員会や他のことも強制的にしなきゃいけない。何かミスしたら責められる、それで待遇が悪い、だから辞める人が多い／若い社員は、状況が変わる期待よりも、自身で環境を変える為に転職活動をしており、この会社の将来がとても不安です／この給料では将来が不安で、転職を考える／3等級・4等級社員のモチベーションが下がっている／退職した社員が、東京メトロ・都営地下鉄等に転職している。

賃金が低いことに加え、「定期昇給の低さ」や「ゾーン2」「基本賃金の上限」によって、この会社で働いても未来がないと諦めていく！

社員の現実を受け止め年末手当を含め、労働条件の改善を行うべきだ！